

若狭における福井県の「でたらめ行政」を検証する（その54）

河内川ダム建設の無駄と無謀 その③⑥

河内川ダム建設工事に係る関西電力熊川発電所補償について、 「公開質問状への福井県の回答」批判 —2

（小浜市） 松本 浩

私（松本）の公開質問状への福井県の回答が余りにも支離滅裂で嘘と誤魔化しに満ちていますので、全「質問への回答」の批判的分析を長期連載の形で展開させていただきます。

なお、福井県知事杉本達治宛に提出した筆者松本の「公開質問状」の「回答書」が知事名ではなく河川課長名となっていることの原因について、その説明を求めているが未だ回答はない。

前247号【第一の質問】の前半のつづき

●「発電所補償費220,000千円(11,000千円+209,000千円)」について質問しているのに、回答は、「11,000千円は・・・着手出来ないこととなり、・・・測量試験費に流用した」と、
○「測量試験費に流用した」と新たな事項への回答で出てきたので、この件について、4月15日に「公文書公開請求」をしたところ1ヶ月延期されて、5月30日に「公開する」と通知があった。

・・・令和4年5月30日、河川課の関係職員3名から、「発電所補償費1,100万円を測量試験費に流用したといっても、それは個別のどの業務に当てたというものではなくて全体としてその費目に移したもので、敢えて対象を示せと言われればこの21件になります」として、右契約書21件が開示された（いずれも平成28年度河内川建設事業）。

この日、開示文書(別表)を前に松本と職員との間で要旨次のような会話が交わされた。

松本: これら業務委託の財源である「測量及び試験費」の費目に発電所補償費1,100万円が移されたんだけど、その1,100万円がどの業務に幾らということは、金に色が付いているわけではないので分からないと、こうおっしゃるわけですね。

職員: そうです。

松本: 個別の用途は分からないというのは、理屈としては分かります。だけど、河川課長がそういう回答で、これまでの西川前知事や杉本知事の国土交通省への報告をわざわざ否定されたことが、私には理解できないんですよ。

職員: ……

松本: 平成30年6月に、当時の西川知事が国土交通省の石井啓一大臣に「平成28年度の河内川ダム完了実績報告書」を提出し

てるんですが、その報告書では平成28年度の「補償費」の実績は、予算が19,000,000円で支出が12,755,952円となっています（「事業費精算総括表」（前247号P.20の表1）を示す）。

職員: (数額を確認して頂く)

松本: この数額だけでは用途の具体的な内容が分からないので、私は、平成2年10月に平成28年度補償費予算1,900万円のうちの発電所補償1,100万円の用途に係る支出伝票の開示を求めました。それに対して同年11月に杉本達治知事から請求に係る関係文書が開示されました。

職員: はい。

松本: これは、その開示文書を私が一覧表(前号記載の表2)にまとめたものです。ご覧のように杉本知事は平成28年度の発電所

補償費 1,100 万円は、土捨場の借地料やバルブ室関係用地の購入費などに支出したとして支出伝票などを公開されたわけです。

職員：……

松本：それで、杉本知事が開示された発電所補償費 1,100 万円の具体的な使途の金額を合計したところ、合計は 12,755,952 円になりました。この合計金額は西川一誠前知事が国土交通大臣に報告した金額と一致しています。

職員：はい。

松本：実に端数までぴたりと一致しています。使途の内容は、関西電力発電所の補償とは何の関係もありませんけどね。しかし、西川知事が国への実績報告書に補償費の完了実績を 12,755,952 円と記載して、杉本知事がその 12,755,952 円の具体的な内容を詳細に開示しているのに、河川課長が今回の公開質問状への回答で、「平成 28 年度補償費は、補償費としては使わずに全額測量試験費に流用しました」と、知事の報告書をわざわざ全面的に否定されたのは何故か……そこが私には理解できないのです。これは一体、どうなっているんですか。

職員：……その質問への説明を、準備していませんでした。

松本：不可解ですね。あなた方は、公開質問への回答を検討するに当たって、前任者からの引き継ぎや、打ち合わせなど何もなさらなかったのですか。

職員：……

松本：西川知事の国土交通大臣への報告書も、杉本知事の開示文書も、河川課長の回答書も、みな重要な公文書ですよ。

職員：……

松本：もし、知事の報告書が正しいとすると河川課長の回答書は嘘ということになりますし、河川課長の回答書が正しいとすると知事の報告書が嘘になりますね。

職員：……

松本：両方とも虚偽ということも十分考えられます。河川課長の回答書は 1,100 万円の発電所補償費をそのままそっくり測量試験費に移したと言っておられますが、平成 28 年度「測量及び試験費」の当初予算は 233,900,000 円ですし、年度末の変更予算

も 233,900,000 円で、1 円も増えてないじゃないですか。

職員：しかし、完了実績が 278,686,440 円と、予算よりも……、4 千数百万円増えてますよ。この増えた 4,400 万円ほどの中に発電所補償の 1,100 万円が入っているんです。

松本：そんなアホな……、収入には入っていないけど支出には使ってるなんて、理屈が通らないじゃないですか。

職員：……

松本：西川知事の国交省への報告も嘘でしょう。12,755,952 円と報告して、杉本知事がその 12,755,952 円の具体的な内容を私に開示していますが、その中身は、発電所補償とは何の関係もないもので、しかも、他の財源で施行されたものばかりです。

職員：……

松本：この一覧表の「借地料」514 万円などは、10 年以上前から毎年のダム費に 510 万円が欠かさず計上されているものですし、「町道追加用地の購入費」155 万円などは、平成 29 年度事業じゃありませんか。29 年度の用地購入費を 28 年度の補償費実績に繰り入れるなんて、もう、無茶苦茶ですよ。

職員：……

松本：知事の報告書も河川課長の回答書も虚偽公文書だとしたら、1,100 万円の発電所補償費は一体どこへ行ったのかということになりますが、私は、この金は、関西電力へ行ったんだと思いますね。だって、福井県のダム建設で一部が水没する関西電力発電所への補償費ですからね。

職員：……

松本：関西電力へ行っても何の不思議もないでしょう。だけど問題は、何でこんなややこしいことをする必要があったのか、ということですね。

職員：……

松本：この 1,100 万円の補償金は、会計処理をする必要のない裏金として密かに関電に渡ったんですよ。他の財源で施行した業務を発電所補償費 1,100 万円の使途にすり替えて西川知事が国へ報告し、実際の補償費 1,100 万円は会計処理の要らない裏金にし

たんですよ。“立派な詐欺”ですね。

職員：……

松本：恐ろしい犯罪ですよ。

職員：……

松本：しかし、二人の知事の報告書の記載内

容を河川課長が公然と否定された事実については、どういうことか、分かるように説明して頂きたいと思います。

職員：……

「平成28年度河内川建設事業」として開示された契約の一覧表

1	用地測量等業務委託その1	3,078,000円
2	” その2	1,674,000円
3	” その3	2,592,000円
4	設計業務委託その3	7,657,200円
5	付替県道設計委託業務	2,203,200円
6	付替町道1、3号線設計業務委託	4,222,800円
7	付替県道、町道設計業務委託	2,808,000円
8	付替町道3号線設計業務委託	4,639,680円
9	用地測量業務委託その5	4,460,400円
10	” その4	9,666,000円
11	コンクリート用骨材調査業務委託	3,063,960円
12	用地測量等業務委託その6	2,592,000円
13	” その7	7,441,200円
14	測量業務委託その5	939,660円
15	保安林解除申請図書作成業務委託	2,516,400円
16	特別単価調査業務委託その1	885,600円
17	” その2	928,800円
18	” その3	745,200円
19	” その4	928,800円
20	” その5	799,200円
21	付替町道3号線設計業務委託2	972,000円
	計	64,814,100円

(追記)

令和4年6月10日、松本は杉本達治知事に対して、「公開質問状」への「回答」に関する下記文書の開示請求書を提出した。

- 1、第三の質問への回答 「付替水路工 204,000 千円については、付替水路工 29-2、29-3 として、付替水路の工事用道路を施工しています。それ以外については、人札不調などで発注時期が遅れ、工期確保が困難となったため、同じ補償工事である付替町道に流用しました」に係る「付替町道に流用」したところの「付替町道工事の工事管理台帳、工事請負契約書、支出伝票」
- 2、第三の質問への回答 「付替水路 29-2、29-3 に付いては、工事前に借地契約しており、適正に対応しています」に係る「借地契約書の一切」

本本文書開示請求に対して、同年6月23日、小浜土木事務所から「先日、開示請求を頂いた文書の件ですが、請求された文書の特定に日数が要りますので、7月22日まで延期させて頂けないでしょうか」と電話があった。

松本が「文書の特定に日数のかからないほうを分離して下さいよ」と頼んだが、「いや二つ一緒にして欲しいんです」と、あっさり断られた。(次号に続く)

